



三股町議会だより



アンケートにご協力ください  
※詳しくは3ページをご覧ください

# みまた ぎかい

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙

Vol. **112**

2023.8.15  
三股町議会発行



PHOTO:三股庁舎から見た霧島連山

三股町議会 第3回(令和5年6月)定例会報告

一般会計補正予算 全会一致で可決 他

そこが聞きたい!!

一般質問…11名

三股よかところ再発見

遺跡発掘調査が開始されました!!



花と緑と水のまち  
宮崎県 三股町

# 三股町議会

## 第3回(令和5年6月)定例会報告

町議会では、6月定例会を6月5日から6月16日までの12日間開催しました。今議会には、本年度会計補正予算、人事案件等の議案(10議案)、報告4件が上程され、すべて全会一致で可決されました。



### 一般会計補正予算

全会一致で

可決

1億1,503万2千円 増額

- 主な項目
- コロナワクチン個別接種業務委託料
  - 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事象補助金
  - 三股町移住支援事業補助金
  - コミュニティ助成事業補助金
  - 人事異動に伴う人件費

### 特別会計補正予算

全会一致で

可決

国民健康保険特別会計補正予算…………… 30万5千円 増額

- 人事異動に伴う人件費

介護保険特別会計補正予算…………… 144万8千円 減額

- 保険者機能強化推進交付金
- 介護保険保険者努力支援交付金

公共下水道事業特別会計補正予算…………… 40万3千円 増額

- 人事異動に伴う人件費

### 人事案件

全会一致で

同意

	農業委員会委員 下石 昭廣 氏 (再任) 【任期期間】 R5.7.20～R8.7.19		農業委員会委員 溝口 良信 氏 (再任) 【任期期間】 R5.7.20～R8.7.19		農業委員会委員 小倉 休幸 氏 (再任) 【任期期間】 R5.7.20～R8.7.19
	農業委員会委員 内村 介貞 氏 (再任) 【任期期間】 R5.7.20～R8.7.19		農業委員会委員 馬渡 芳文 氏 (再任) 【任期期間】 R5.7.20～R8.7.19		農業委員会委員 中石 均 氏 (新任) 【任期期間】 R5.7.20～R8.7.19

### 第3回(令和5年6月)定例会 採決結果

全議案が全会一致で可決のため、表決結果を掲載しておりません。

## 第2回(令和5年5月)臨時会報告(5月19日開催)

全会一致で

可決

● 一般会計補正予算…………… 4億3,002万5千円 増額

### 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業関係

主な項目

- 3歳未満児の第一子保育料負担軽減事業
- 臨時特別給付金(住民税非課税世帯)
- 低所得子育て世帯生活支援給付金
- 県プレミアム付商品券換金業務委託料

● 工事請負契約の締結について

令和5年度宮村小学校管理教室棟外壁改修工事…………… 4,994万円

- 上原林業株式会社

● 三股町税条例の一部を改正する条例《専決処分》

- 森林環境税及び森林環境贈与税に関する法律の施行に伴う町民税関連条例の改正
- 軽自動車税の環境性能割の税率区分の見直し及び種別割のグリーン化特例を3年間延長

● 三股町国民健康保険税条例の一部を改正する条例《専決処分》

- 国民健康保険税の課税限度額の引き上げ及び軽減措置の所得判定基準額の引き上げ

● 一般会計補正予算《専決処分》…………… 6億2,685万円 減額

主な項目

- ふるさと納税推進事業業務委託料
- 予防接種委託料
- 耕地災害復旧事業

● 国民健康保険特別会計補正予算《専決処分》… 9,164万2千円 減額

- 保険給付費

● 介護保険特別会計補正予算《専決処分》…………… 470万1千円 増額

- 低所得者保険料軽減繰入金

### WEBアンケート調査ご協力をお願い

「三股町交流拠点施設整備事業(五本松町営団地跡地活用事業)三股に対するアンケート」

このアンケートの結果で町の計画が変わるものではありませんが、三股町議会として、参考にさせていただきたいと考えております。

- アンケート内容…三股町交流拠点施設整備事業に対するアンケート(五本松町営団地跡地活用事業)
- 調査期間…2023年8月31日(木曜日)まで
- 回答方法…スマートフォンなどで表紙の二次元バーコードを読み込んでご回答ください。

※「議会だより」第111号(2023年5月15日発行)3ページの記事に誤りがありました。

【誤】教育委員 愛甲 啓二 氏 → 【正】教育委員 愛甲 敬二 氏

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。



# そこが聞きたい!

## 一般質問とは?

議員が町の事務の執行の状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかをチェックするものです。

傍聴者数  
延べ41名  
ありがとうございました。

## 三股町議会 第3回(令和5年6月)定例会 一般質問

質問者	通告された質問事項	頁
楠原 更三	①観光振興について ②人材バンクの実態について ③民生委員児童委員について	5p
新坂 哲雄	①くいまー交通について ②農業水利について ③保育料無料化について	6p
山中 則夫	①町政の諸課題の取組みについて	7p
内村 立吉	①ふるさと納税について ②教育委員会の現在の状況・今後について ③新型コロナウイルス感染対策について ④循環型農業について ⑤多面的機能支払交付金について	8p
堀内 義郎	①保育料無料化と財政について ②公式ラインの活用について ③木材利用促進基本方針と森林環境譲与税について ④上米公園の整備と利活用について ⑤災害復旧について	9p
田中 光子	①3歳児健康診査における屈折検査について ②男性の育児休業取得について ③HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンについて	10p
岩津 良	①障がい者の就労支援について	11p
上西 雅子	①役場内における保健師の配置について ②きめ細やかな高齢者支援を充足させる為の、町独自の事業について ③保育園等の広域入所について	12p
西村 尚彦	①交流拠点施設整備事業に伴う事業スキーム(PFI事業)について	13p
中原 美穂	①高齢者福祉の充実について ②三股町財源について	14p
堀内 和義	①蓼池児童プール解体について ②蓼池認定こども園増築の進捗状況について ③町職員の給与実態について	15p

5p～15pは一般質問のやりとりの中から、質問した「議員自らが抜粋した内容」を掲載しています

一般質問  
「そこが聞きたい!」



Q 通年型の具体的な観光戦略は

A 2つの取り組みを推進する



楠原 更三議員

### 総合計画の中の観光振興の具体策

Q 町の第六次総合計画に三股の魅力を発信できる通年型の観光戦略を推進するとありますが、観光地整備の面からの具体的な戦略はあるのでしょうか。

A 町長  
スポーツ・文化合宿の推進及び体験型観光の整備の二つの取り組みを推進することとしています。一つは町内の宿泊施設を利用して行う町外のアマチュアの団体に宿泊費の一部を補助するもの、また長田地区の交流人口の増加と活性化を目指し、自然環境を生かした陶芸体験等を組み合わせた体験型モデルルートを検討しています。

A 企画商工課長  
総合計画にあるサイクルツーリズム等で、一年を通して三股の風土に触れていただけるような取り組みを行いたいです。具体的には、三股駅発着で長田、梶山方面へ約20kmの四つのルートを検討しています。関係団体をはじめ町民の皆様にも今年度の早い時期に公表したいと思えます。また、町外県外へも足を延ばせる広域的な提案も検討したいと考えています。

Q 本町の観光協会は、外部に開かれた利用しやすいものでしょうか。

A 企画商工課長  
観光協会には39の個人と法人が加入しており、事務局は企画商工課内にあります。観光やイベント情報発信拠点はよかもんやで、土日も含めて対応しています。



Q それらのことを周知し誰でもが利用しやすいように、よかもんやに観光情報発信拠点の看板設置はできませんか。

A 企画商工課長  
検討させていただきます。

### 民生児童委員のなり手不足対策

Q 民生委員児童委員のなり手不足が叫ばれています。その原因として把握されているものと委員選定のあり方を伺います。

A 福祉課長  
65歳以上の就業者が増えたことや業務が多岐複雑になり、課題が難しくなっていることが原因となっております。委員の選定については、福祉課から地域情報に詳しい自治公民館長に推薦依頼をしています。今後もそのあり方を継続します。各自治公民館での推薦体制は把握していません。

Q 自治公民館加入率が低下している中であっても、民生児童委員が担当する地域は、自治公民館地域全体という考え方ででしょうか。また、全国的な調査で、委員の役割や活動内容を知らない人が多いとのことですが、それらを定期的に町民の皆さんに周知することは考えられませんか。

A 福祉課長  
担当地域は自治公民館内全域となります。周知については、委員の活動内容が多岐化していることもあり、どのような形で行うのが良いのか検討してまいります。



にい さか てつ お  
新坂 哲雄議員

### Q デマンド交通の運用は

一般質問  
「そこが聞きたい!」



町長

A 令和7年度運用開始を  
目標

#### くいまーる交通について

Q デマンド交通の運用はいつ頃を予定していますか。

A 町長

令和7年度運用開始を目標として取り組んでいく考えです。

Q 高齢者で免許返納を考えている人がいるがその対応はどう考えていますか。

A 総務課長

運転に不安のある高齢者で運転免許証を自主返納した人に対し、くいまーる回数券を交付しており、移動手段の確保及びくいまーるの利用を促すことを目的とするものです。\*1 デマンド交通計画も支援事業のひとつとして取り組んでいきたいと考えています。

(※1) デマンド交通…予約を入れて指定された時間に指定された場所へ送迎する交通サービスのことで

#### 農業水路は

Q 長田地区の表川内水路に水が来ないが、県と協議は出来たのでしょうか。

A 農業振興課長

表川内の水路の水は、県が設置した砂防堰堤の上流から取水しており、令和3年11月、砂防堰堤が竣工した時点において、取水口から下流に新設した管理マスまで通水したことを確認しました。

Q ダム工事を行ったのが原因ではないでしょうか。

A 農業振興課長

現地確認を行ったところ、昨年9月の台風14号によって、上流部から流れ出た大量の土砂が堰堤に堆積し、取水口までの暗渠管と取水マス内などに土砂等が入り込んだことが原因ではないかと思われる。

#### 保育料無料化は

Q 財政力の高い自治体が独自の給付事業を行うなど地域間格差が起きていますが、本町として最低限の取り組みはなされているのでしょうか。

A 福祉課長

本町でも同じ対応を求める声や園児減少を不安視する声があります。直面する課題への対応として、負担の大きい第一子の保育料を軽減し子どもをもうけてもらうことが重要であると考えました。

Q 財政面はどう考えていますか。

A 税務財政課長

3歳未満児の保育料無償化は独自の単独事業となりますので自主財源で財源を賄うことになります。

#### ふるさと納税寄附額は

Q ふるさと納税の今後の推移はどうなっているのでしょうか。

A ふるさと納税推進室長

令和5年度の寄附額目標は、昨年度の目標3億円を目指しつつ、更なる上積みを見込み4億円としているところです。保育料無料化を含む子育て支援の重要な財源として、目標額を達成できるように取り組みを進めていきます。

一般質問  
「そこが聞きたい!」



町長

### Q 公共事業の予算を増やすべきでは



やま なか のり お  
山中 則夫議員

A 必要な経費は計上している

#### 公共の投資的経費について

Q 公共インフラ整備事業の予算は10数年前までは、16~17億円程組まれていましたが、将来の為に、公共の投資的経費をもっと増やすべきではないでしょうか。

A 町長

投資的経費は道路・公園・学校など、老朽化が進んだ施設の長寿命化や、様々な課題に対して、計画的に必要な経費を計上しています。

Q 今年の予算額は約6億円程ですが、あまりにも少ないのではないのでしょうか。

A 町長

公共事業は一般会計だけではなく、特別会計の公共下水道もあります。公共投資だけではなく、町民の福祉等にも力を入れたいと考えています。

#### 町主催のイベントの見直しを図るべき

Q 町民に三股町が「ふるさと、だと意識を持たせる為に第一回目の「ふるさと祭り、が行われたと聞いていますが、今のイベントは産業祭りになっていませんか。

A 企画商工課長

町民の皆さんが、「これからも住み続けたい」と誇りをもっていただけるようなまつりとして実行委員の皆様と一緒に作りあげたいと考えています。また、地元事業者の出店も、地域経済活性化の一翼を担っています。



第一回ふるさとまつり→

#### 給食センターの民営化について

Q 本町は財政上厳しい中において、中学校の給食費を無償化したので、都城市のように、給食センターの民営化を考えてはいかがでしょうか。(本町が民営化をすると給食センターの運営費1億円が約5千万円で済むと考えます)

A 町長

町学校給食会が運営しておりますので、給食センターの民営化は考えていません。

A 教育課長

運営については、町学校給食会に委託し、半官半民の形をとっております。このような運営方法を取ることで、町内雇用を生んだり、地元業者から食材を購入することにもつながっていると考えています。

#### 蓼池方面に簡単な役場事務所を

Q 269号線沿いに道の駅を作って、中に簡易な役場の出張所を作れば、地域の情報も入るのではないのでしょうか。

A 企画商工課長

国道269号線沿いに「道の駅」を整備する計画はなく、併設する役場事務所の設置についても、そのような計画はないところです。

昨年度、三股町地域公共交通計画を策定し、今年度は地域コミュニティバスくいまーるのコース選定などを行い、来年度から運行することとなり、町民の皆さまの移動に関する支援を充実させていく計画です。



うち むら たつ よし  
内村 立吉議員



派遣型ふるさと納税の  
取り組みは

一般質問  
「そこが聞きたい!」



町長



取り組んでいきたい

### ふるさと納税について

**Q** 人材派遣型企業版ふるさと納税の利用企業が大きく増えているようですが、内容はどのようなことですか。



町長

企業が人件費を含む事業費について寄附を行い、同一年度に寄附活用事業として地方公共団体の職員に任用するか、または地域活性化事業を行う団体等に採用される場合のことをいいます。



本町の取り組みはどうでしょうか。



ふるさと納税推進室長

地域再生計画の認定を受けて、企業版ふるさと納税の受け入れが、可能となっています。本町の取り組む事業に対して賛同し、支援いただける企業の募集に努めて参りたいと思います。

### 循環型農業については

**Q** 地域資源を利用した循環型農業について、県や川南町は大手商社の双日と協定を結んでいます。本町も、このような事業に取り組めないでしょうか。



農業振興課長

関連企業等の情報収集に努めるなど、実現可能な取り組みについて推進して参りたいと考えます。

### 教育委員会の状況・今後について

**Q** 中学校の部活動指導の人材登用は、どのようになっていますか。



教育長

令和5年度の部活動では13名の方に外部指導者として登録いただいています。令和元年度から部活動有識者会議を開催し、意見交換を実施しています。



登下校の見守りはどのようになっていますか。



教育長

平成29年12月の中央審議会中間まとめにおいて、学校以外が担う業務と示されました。今後も、地域・保護者の理解、協力を得ながら、連携強化に取り組んでいきたいと考えます。



時間外対応はどのようになっていますか。



教育長

令和4年まで全ての小中学校に留守番電話を設置し、運用していますが、学校により運用の仕方に差があるようです。今後も、家庭・地域と連携しながら運用を図っていききたいと考えます。



一般質問  
「そこが聞きたい!」



町長



無料化に伴う町税等の  
負担増は



ほり うち よし ろう  
堀内 義郎議員



新たな町民負担は考えていない

### 保育料無料化と財政について

**Q** 給食費、保育料の相次ぐ無料化に伴い、町税等が増えるのではないかと心配の声がありますが、どう思われますか。



町長

子育て支援事業拡充の財源については、歳出改革として各種事務事業の見直しや、町単独事業などの精査、町単独の新規事業については、見直しなどによる事業繰り延べなどを検討します。歳入については、町税等の自然増収分の確保、ふるさと納税の推進、財政調整基金の活用などで対応しようと考えています。給食費の無償化についても、町税等の新たな町民負担は考えていません。



他の事業についても影響はないのでしょうか。



町長

歳出の全般的な見直しなど歳出改革と共に、歳入については財政調整基金やふるさと納税の倍増や3倍増を目標に取り組む必要があると考えています。



無料化の財源として、ふるさと納税の一部を充てるという事ですが、令和4年度が目標に届かなかった原因と、今後の取り組みを伺います。



ふるさと納税推進室長

認識している課題として、寄付者ニーズに対応した魅力ある返礼品を取り揃える事が出来ない、効果的な返礼品の効果的なPR・情報発信が不足していたのではと考えています。今後の取り組みとして、更に寄付者ニーズに対応した返礼品の開発、改良に取り組んでいきます。寄付金が保育

料無料化を含む子育て支援の重要な財源として活用されている事を周知していきます。



認定こども園は今回コロナ臨時交付金が充てられていますが、来年については、ふるさと納税の活用も考えてよいのでしょうか。



税務財政課長

支出の町負担分が増えるので、ふるさと納税や他の基金を使い財源措置をする事になると思います。

### 上米公園の整備と利活用について



公園内の用地取得について、キャンプ広場などとして利活用は出来ないでしょうか。



都市整備課長

用地取得については、パークゴルフ場管理棟の南側、中央広場の東側に位置する民有地が公園区域内であった事、上米公園の更なる魅力向上を図る必要があった事から、今年3月用地取得を行いました。公園利用者からパークゴルフ場のコースを追加してほしいという意見や、キャンプやバーベキュー利用の問い合わせが増えてきました。利活用については、公園の利用状況、公園利用者の意見等を踏まえ検討したいと考えています。



上米公園のキャンプ可能な広場



たなかみつこ  
田中 光子議員



屈折検査機器導入はできないか

一般質問  
「そこが聞きたい!」



町長

A 導入に前向きに取り組む

### 3歳児健康診査での屈折検査について

Q 3歳児健康診査における屈折検査の重要性をどのように考えているのでしょうか。

A 町長

屈折異常や斜視に伴う視力発達の遅れは、日常生活では気づかれないこともあるため、現行の視力検査に加え、より精度の高い視覚検査の実施は重要であると考えます。

Q 弱視はおよそ50人に1人とわれています。しかし本町では、3歳児健康診査の過去3年間の視力検査で弱視はいませんと報告されました。見逃しがあると考えますがいかがでしょうか。

A 町民保健課長

一次検査の視力検査が家庭で行われること、3歳児では検査時の応答が正確ではないこと等により見逃しがあると考えられます。

Q 視力異常の検出を家庭での検査に期待するのは困難です。<sup>※1</sup>屈折検査機器導入には、国から半額補助があり、この時点で発見できれば治る可能性があります。導入できないでしょうか。

(※1) 屈折検査…遠視・近視・乱視の度数を調べる検査

A 町長

機器の選定や検査体制を検討し、導入には前向きに取り組んでいきたいと考えます。

### 男性の育児休業取得について

Q 男性の取得率を上げていくには、大手企業だけでなく、中小企業で取得する人を増やす必要があると厚労省はみています。男性職員の取得促進するための対策を伺います。

A 総務課長

取得を促すための大きな施策の方向性は「ワーク・ライフ・バランス」の普及・啓発にあると考えます。取得しようとする者の意識の持ち方や就業環境の整備、特に職場で同じく働く人の理解を促す工夫が必要と考えます。

Q 男性の3人に1人がとるだけ育休、の可能性があると指摘もあり、取るだけ育休を改善し、育休の質を高めるためのガイドブック作成はできないでしょうか。

A 総務課長

育休の質、の重要性を認識しつつ、<sup>※2</sup>ワーク・ライフ・バランスの意識向上、就業環境の改善による育休意識の醸成が優先事項と考えておりますので、現段階では育休ガイドブックの作成は考えていません。

(※2) ワーク・ライフ・バランス…仕事と生活のバランス

### HPVワクチン接種について

Q 男性もHPVワクチン(子宮けいがんワクチン)を接種することで、一部のがんから自分を守り、パートナーを病気から守ることになります。男性への接種の助成はできないでしょうか。

A 町民保健課長

男性HPVワクチンに対する公費助成について、国で審議されており、その動向に注視してまいります。

一般質問  
「そこが聞きたい!」



福祉課長



障がい者雇用を拡大していくには



いわつりょう  
岩津 良議員

A 企業及び住民の理解と配慮が必要

### 障がい者の就労支援について

Q 今後、障がい者の雇用拡大していくための考えを伺います。

A 福祉課長

障がい者を雇い入れた場合の助成金のあり方などについて、企業にその理解や制度を利用いただいたり、町民が、働く障がい者に配慮を示していただくことが雇用の拡大につながると考えております。

Q 町内における障がいのある方の人数、その中で就労されている方はどれぐらいいるのでしょうか。

A 福祉課長

18歳以上65歳未満の障がい別の手帳所持者数は、565人です。

その内、福祉的就労を含む就労されている方の割合は、<sup>※2</sup>就労継続支援B型事業所は10.62%、<sup>※1</sup>就労継続支援A型事業所が3.01%、一般企業への就労は9.38%となります。

(※1) 就労継続支援A型事業所…雇用契約に基づく就労が可能な方に対する福祉的就労サービス  
(※2) 就労継続支援B型事業所…雇用契約を結ばずに軽作業等の就労訓練を行える福祉的就労サービス

Q 今後、障がい者の雇用の促進等に関する法律において法定雇用率が引き上げられますが、役場及び町内企業の状況を伺います。

A 企画商工課長

町内の状況については、把握をしていないところですが、職業安定所別の集計によりますと、都城安定所内では、2.75%となっており、県内の割合を0.18ポイント上回る結果となっております。自治体につきまして、三股町の障がい者雇用率

は、4.37%と県内26市町村の中で最も高い雇用率となっております。

Q 企業側が障がい者雇用について尋ねたい場合には、福祉課以外にどこがあるのでしょうか。

A 企画商工課長

企画商工課の方でもご相談は承っておりますので、できる限りのサポートはさせていただきます。

Q 本町では障がい者就労施設等からの物品の調達や役務の委託等推進しております。しかし現状は内容が固定化されている事や、実績額が年々減少してきています。その点はいかがお考えでしょうか。

A 福祉課長

そのことについては、役場全体への周知が必要だと思えます。ついては、今後予算執行方針説明会に合わせてこのことを説明したり、実績把握についても、担当者間でなく課長会議等で説明をしていきたいと思えます。

Q 福祉課だけの縦割りでは支援の機会損失に繋がったり、企業含め町内に対しての理解促進のためにも庁舎内での連携も行ってほしいのですがいかがでしょうか。

A 町長

障がいのある方の生きがい創出や生活面での支援も注視しながら、福祉課だけではなく庁舎全体として、障がい者対策に生かしていきたいと思えます。



かみにしまさこ  
上西 雅子議員

**Q** 高齢者向けの町独自のサービスは

一般質問  
「そこが聞きたい!」



高齢者支援課長

**A** 今後、検討していきたい

### きめ細やかな高齢者支援サービスについて

**Q** 高齢者や一時的な見守りなど、介護保険で対応できないサービス等を頼める所があると良い、との声を聞きます。町内でそうしたサービスを提供する事業所はありますか。

**A** 高齢者支援課長

町では「三股町在宅高齢者軽度生活援助事業」に取り組んでおり、食事の支度・洗濯・掃除などの軽易な日常生活上の援助を行っています。また今市自治公民館では、要支援認定者や一人暮らしの高齢者を対象に、「地域支え合い活動事業」を実施し、コタツなどの季節製品の入替や買い物支援等を行っています。しかし、一時的なお手伝いサービスを行っている事業所は把握していません。

**Q** 「介護予防・日常生活支援総合事業」は、地域の実情に応じた多様なサービスを充実させる為のものであり、自治体独自のサービスを提供する事が可能な事業です。

このようなサービスを町独自で行う考えはありますか。

**A** 高齢者支援課長

他の自治体には「電球電灯の交換、軽い家具の移動、季節の家電製品の入替」など、緊急性、危険性、専門性、継続性が無い軽易な活動について支援している所があります。サポーターの確保が課題となりますが、先進地の事例等を参考に、今後検討していきたいと考えます。

### 「地域包括支援センター」の専門職配置について

**Q** 保健師を含めた専門職の方が、その専門性を活かしたきめ細やかな質の高いサービスを提供していく必要があると考えます。

地域包括支援センターには適正に配置されているのでしょうか。

**A** 総務課長

地域包括支援センターへの配置は、保健師に準ずる者として、経験豊富な看護師を配置している為、基準からすれば適切と考えます。

### 保育園等の広域入所について

**Q** 現在、幼稚園を除く教育・保育については、広域入所(市町村をまたがった園の利用)は原則認められていません。

しかし、緊急時の対応ができるように親の職場の近くが良いと考える方や、「自分の子供に合っている」等の理由で、特定の園を選択したいと考える方がいます。保護者の状況や希望を考慮しながら、選択の幅を持たせても良いのでしょうか。

**A** 福祉課長

本町は、待機幼児が発生しないことを主眼にした計画を立てています。

広域入所要件を緩和すると、町に住所のある子どもが、町内施設を利用できなくなってしまうことが増加する可能性があります。そのため今後も、住所要件による広域入所(転居等の理由)のみ認めることとしています。



一般質問  
「そこが聞きたい!」



町長

**Q** PFI事業の特色は



にしむらなおひこ  
西村 尚彦議員

**A** 性能発注である

### PFI事業とは

**Q** 交流拠点施設整備事業で取り組む予定であるPFI事業は、従来の公共事業と何が違うのでしょうか。

**A** 町長

PFI事業とは、公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金と専門的な知識や技術を活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るもので、公共事業の「仕様発注」ではなく「性能発注」することが特色です。

### 民間事業者のメリットは

**Q** 民間事業者側から見た、PFI事業のメリット、デメリットを伺います。

**A** 企画商工課長

計画の検討段階から関与することができ、主体性をもって関わることがメリットで、「リスク分担」という考えで、従来の公共事業では、官側だけが負っていたリスクを、民間が負わなければならなくなり、この点がデメリットとなります。

### 品質確保はどのように

**Q** 性能発注は、特に建設の場合など品質低下になりませんか。

**A** 企画商工課長

性能発注は満たすべきサービス水準や性能を示し、受注者がそれを達成するための技術提案や施工を行う方式で、この事業に関する「業務要求水準書」で、詳細な設定を行い、品質低下にならないようにしたいです。

### 維持管理費は増加しないか

**Q** PFI事業は長期契約となりますが、維持管理費など従来の費用より増加しないのでしょうか。

**A** 企画商工課長

民間が施設の維持管理・運営を行うことで、常に良好な施設として利用でき、多額の修繕費がかかる前に、小規模な修繕を行うことで、長期的な財政負担を軽減できます。また、契約締結時に事業の維持を目的とした監視に関する事項を定め、維持管理業務の監視体制を継続して行っています。

### 商業交流施設の経営は

**Q** 商業交流施設の経営悪化は、町民交流施設の公共サービス運営に影響はないのでしょうか。

**A** 企画商工課長

町民交流施設の整備を先行して行い、商業交流施設については、資金調達や返済能力など、諸条件が整った後に進めていきます。

### 国の補助事業の実施について

**Q** 国の50%補助事業の採択を受け施設整備を行う予定ですが、メインである町民交流施設の整備が決まる前に周辺道路や公園、敷地内の広場の整備は実施できるのでしょうか。また、事業期間(5年)の延長はできるのでしょうか。

**A** 企画商工課長

町民交流施設の整備に関する意思決定がなされなければ、周辺事業の整備もできないと考えられます。また、令和5・6年度の事業の実施が遅れば、計画の初年度からの変更となり、本事業に対する実現可能性の信頼は低下し、採択が取り消される可能性も否定できません。事業期間の延長もできません。



なか はら み ほ  
中原 美穂議員

## Q 高齢者の権利擁護は

一般質問  
「そこが聞きたい!」



町長

A 早期の支援に繋がるよう  
努める

### 高齢者福祉の充実について

Q 高齢者人口が増える中で、今後、権利擁護、成年後見制度の相談が増えていくと思われます。今後の取り組みや対策を伺います。

A 町長

成年後見センターは社会福祉協議会に委託し、後見業務の受任や相談業務等の体制を令和4年7月からとっています。更に、地区の民生委員やケアマネジャー等から情報を提供して貰うようにしており、早期の支援に繋がるように努めています。

### 包括支援センターの役割について

Q 本町の包括支援センターは、町の運営となっています。国が求める基準、専門職をしっかりと配置されているのでしょうか。問題となるケースの相談や対応にしっかりとアドバイスができる体制が取れているのでしょうか。

A 高齢者支援課長

本町では、事務職で看護師の資格を持っている者が保健師に準ずる者として1名、ケアマネジャーで社会福祉士を持っている者2名、主任介護支援専門員1名の状況であり、国の示す専門職の人数は満たしている状況です。相談業務については、主任介護支援専門や事務職員が受けているところであり、専門的な知識や判断が必要なときには、専門職に確認しながら対応しています。

A 総務課長

65歳高齢者人口も増えてきていることから、R6年度に専門職の配置は検討していきます。

### 要支援・要介護者について

Q 介護保険更新申請時に要介護度が軽く認定されることへの町民(当事者)の不満が聞かれています。介護申請の変更申請件数も年々増加しており、R2年度71件、R3年度102件、R4年度124件、審査請求(不服申し立て)R2年度なし、R3年度なし、R4年度1件。こちらの結果を確認すると適切な介護度認定が行われているのでしょうか。

A 高齢者支援課長

町としまして適切な介護認定はされていると判断しています。介護認定審査結果について疑問がある時には、町に問い合わせ頂ければ、丁寧に説明しています。その説明を受け、ご理解頂けない場合は不服申し立て申請となります。不服申し立ては、県の介護保険審査会に申請しなければならず、審査結果が出るまでに、時間を要するものとなっています。

### 三股町財源について

Q 財源をどのように増やしていこうとお考えでしょうか。

A 税務財政課長

自主財源の中でも、税などの町民負担増は考えていないことから、自主財源のうち、町税等の自然増部分、ふるさと納税による寄附金及び繰入金が増額できる財源になると考えています。

中期財政計画では、寄附金額の目標として、令和6年度4億円、令和7年度5億円としています。

一般質問  
「そこが聞きたい!」



町長

## Q 蓼池児童プールの撤去計画は



ほり うち かず よし  
堀内 和義議員

A 総合管理計画に沿って  
検討

### 蓼池児童プールの撤去について

Q 蓼池児童プールの撤去要望がでていますが撤去計画はないのでしょうか。

A 町長

町の児童プールは、今市、蓼池、新馬場、谷の4施設あります。老朽化した児童プールの統廃合については、公共施設等総合管理計画に沿って検討していきたいと考えています。

Q プールの耐用年数と利用状況を伺います。

A 福祉課長

減価償却資産の耐用年数表によると30年とされています。施設の老朽化もあり、コロナ禍にあった3年間を含め利用者は少なく、蓼池児童プールは昭和48年に建設され、現在は利用されていない状況です。

Q 児童プールの撤去に伴う費用を伺います。

A 福祉課長

他自治体の施工例から概算したところ840万円くらいの経費となります。

Q 蓼池児童館に面する道路は交通量が多くカーブとなっており危険です。プールを撤去し敷地面積を確保することにより歩道整備もできますが、いかがでしょうか。

A 都市整備課長

歩道整備については、児童館敷地を道路敷地として提供していただければ可能です。

### たでいけ認定こども園の増築について

Q たでいけ認定こども園の定員増に伴う増築及び改修についての進捗状況を伺います。

A 福祉課長

令和5年度第1回町議会定例会で補助金予算の決議を受け、4月からこども家庭庁と協議を開始

しました。5月16日に協議が終了し、6月9日に内示があったところです。

Q 内示のあった国庫補助金額を伺います。

A 福祉課長

国と町の最終協議結果からの内示額が、国庫支出金51,885千円で、それに伴い町補助金11,165千円の合計63,050千円となっています。

Q 予算計上した事業費と内示額の格差が大きいです。差額の補填はできないのでしょうか。

A 町長

町としてはこれまで保育所、認定こども園の整備を応援してきました。やはりルールに基づいてしか予算措置はできません。

### 町職員の給与実態について

Q 県内市町村別<sup>\*1</sup>ラスパイレス指数における三股町の実態を伺います。

A 総務課長

本町のラスパイレス指数は95.9で市町村計の98.0より2.1ポイント低い指数となっています。本町との<sup>\*2</sup>類似団体との比較では、西都市が96.9の1.0ポイント、高鍋町が97.7で1.8ポイント低い状況となっています。

(※1)ラスパイレス指数…物価などの指数を算出する際の計算手法のひとつ  
(※2)類似団体…市町村を人口と産業構造により分類したものであり、類似する他町との比較が可能になる。

Q 県の給料表は9級までありますが、本町は6級止まり、7級までの引き上げはできないでしょうか。

A 総務課長

県内団体の運用状況や社会情勢の変化により見守っていきたく考えます。



# 三股よかところ再発見

三股町議会議員たちが、わが町の「よかところ」を紹介するコーナーです。

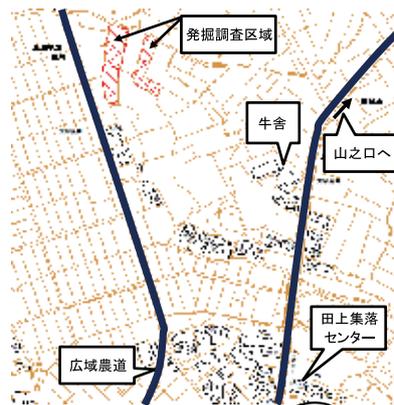
vol.1

## 遺跡発掘調査が開始されました!!



道路状遺構が確認されています

### 発掘調査対象区域



### 「高才第3地区 方境遺跡発掘調査」について



本町の田上地区から都城市山之口町一帯で、県による畑地帯総合整備事業が計画されました。これを受けて、平成30年～令和元年にかけて遺跡の有無を確認する調査が行われました。その結果、土器等が出土し、遺跡が確認されたため、本格的な発掘調査を行う運びとなりました。

三股町教育課では、令和5年6月から重機による掘削を開始し、今後は人力による発掘調査を行います。埋蔵文化財は、文字どおり土に埋もれた文化財ですので、時代の判別はこれからですが、出土する遺構(人々の生活の跡)や遺物(土器等)は、過去の人々の営みに触れる機会となります。 文化財係 黒木係長



### 議員の目



約1300年～1700年程前の先人たちは、この地でどんな文化を持ち、どんな生活を送っていたのか、この調査でその一端を垣間見る事ができるかもしれません。今調査に先立って行われた都城市の発掘調査では、南九州特有と言われる「地下式横穴墓」が発掘され、鉄剣等の副葬品も出土したそうです。

今回は何が掘り出されるのか、期待に胸が膨らみます!!

### 編集後記

#### サポート詐欺に注意!

▲パソコン上で、警戒音がけたたましく鳴り響き、ハッカーに狙われています! サポートします! と言って、ギフトカードを要求する事案が都城・三股圏域増えています。警戒音は、電源を切ると止まりますので、安心してください。

▲新型コロナの感染症法上の位置付けが5類に移行して、久しぶりに夏祭りなどが開催されにぎわいを見せると予想されますが、第9波に入ったと日本医師会は判断されました。基本的な感染対策を徹底していきましょう。(田中)

#### 議会広報編集常任委員会



- |       |       |
|-------|-------|
| 委員長   | 副委員長  |
| 上西 雅子 | 岩津 良  |
| 委員    | 委員    |
| 楠原 更三 | 田中 光子 |

